



コンクリートメンテナンス協会徳納剛会長は

コンクリートも「健康で長生きを！」

メンテナンス協会が補修補強フォーラム

1日、「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2016」を大阪市内で開幕した。

「劣化を定量的に評価し、工法を適切に選定するには」をテーマに掲げ、コンクリートの維持管理

に関する最新情報を発信した。

コンクリート補修工法選定のための必要な知識に重点を置いたフォーラムとして、京都大学の宮川豊章特任教授ら多彩な講師を招き、最新の補修技術を解説するもの。大阪会場には2日間で全国最大規模となる延べ990人が参加申し込み（全

国では4300人）、総論から各論に聴き入った。

開催に当たって徳納会長「写真」は「年々進化している最新の技術を紹介する。今回から2日間となり、より多くの情報が提供できる。コンクリートが健康で長寿命化を図れるための正しい知識と最新の知見を紹介したい」とあいさつ。発表する

各種技術については、偏ることなく、公平にラインアップしたと説明した。